



今日のトピック デフレ脱却を追い風に堅調続く日本株

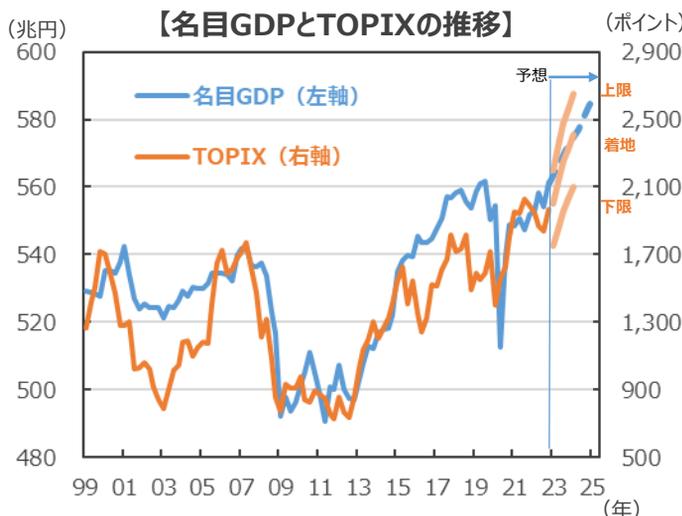
過去最高を更新する「名目」GDPと今後の日本株

ポイント1 拡大が続く日本の「名目」GDP

- 日本の名目GDPが拡大しています。コロナ禍後の堅調な景気回復に物価の上昇が加わることで、弊社では今年度の日本の名目GDPは前年比+1.8%の成長を見込んでいます。
- デフレ下では「実質」GDPがプラスでも、物価が下落することで「名目」GDPが伸び悩むことが少なくありませんでした。しかし足元では世界的なインフレもあり、日本の名目GDPは堅調な推移が続いています。

ポイント2 「名目」GDPと株価の関係

- 売上や利益といった企業業績は、いずれもインフレ調整前の「名目」の数字になります。このため、同じインフレ調整前の経済指標である名目GDPの推移は、株式市場の動向を見る上で唆に富んでいるといえそうです。
- 過去20年余りの名目GDPと東証株価指数（TOPIX）の推移を確認すると、金融市場の一時的な混乱などで乖離する局面も見られますが、その趨勢や転換点という意味では、おおむね連動していることが確認できます。



今後の展開 過去最高を更新する「名目」GDPと今後の日本株

- 弊社では、名目GDPは23年度に前年比+2.3%、24年度は同+1.9%の成長を続け、来年度中には570兆円を超えることで過去最高を更新するものと予想しています。
- 名目GDPの成長に後押しされる形で企業業績の拡大が続き、さらに、米国での金融引き締めが終了することで、今年の後半にかけて日本株は大きく反発する可能性があります。弊社では、TOPIXは今年度の12月末には2,300ポイント台に、日経平均でも3万2千円台まで上昇する可能性があるものと予想しています。

ここも
チェック! 2023年 2月14日 日本株～プライム市場生き残りへ
2022年12月14日 2023年は日本株の年に

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。